

●スペイン式サッカーメソッドクリニック講師変更とクリニック概要のお知らせ

当初予定しておりました Ángel Gómez 氏がキプロス国の重要なクラブであるオモニア・ニコシアというクラブからのスポーツダイレクター就任オファーを受けたことにより講師がイスマエル・オルトゥーノ・カステージョ氏に変更となりました。突然の変更で申し訳ありません。イスマエル氏はUEFA PROの資格を持ち、スペインでも育成に定評のある Villarreal CF のアカデミーで指導しております。イスマエル氏のプロフィールは別紙をご覧ください。

また、今回のクリニックの内容ですが、テーマの根底には以下の項目を据えています。今後、皆様が選手育成をされていく中での必ず役に立つと思われる内容です。是非ご一読くださいますようお願いいたします。

■インテグラルトレーニング！

インテグラルトレーニングとは、直訳すると、総合的なトレーニング。意識すると、試合で生きるトレーニングです。スペインでは、技術、フィジカル、戦術、メンタルの4要素は、決して切り離す事は出来ません。何故なら、試合中は、全てのプレーにこの4要素が含まれているからです。であれば、普段の練習でも、この4要素を出来る限り意識したトレーニングこそが、試合で生きるトレーニングであり、優れたトレーニングであるという事になります。技術だけを切り離したドリル形式のトレーニングは、意味がないとまで、スペインでは考えを明確にしています。決して、エリートだけのトレーニングでは無い。どんなレベルの子でも、そして7歳から、スペインで主流の概念となっているインテグラルトレーニングを、根本から、議論して行きたいと思っています。

■守備の文化の構築を！

強いチーム、強い国には守備の文化がある。守備の基本、セオリーが沢山蓄積されている。それを、子供の年代から、根付かせる事こそ、強国への道への王道。それが、屈強なオフェンス力の創出にも繋がって行く。スペインの育成年代で求められている守備の文化を紐解き、明日の日本の育成文化のヒントに。

■試合分析と課題への取組み

試合を見て、浮き彫りになった課題を後日のトレーニングで取組み、改善へ努める。また、一方で、個々の課題も日々、年間を通して取り組む。また、相手の特徴を分析し、相手の武器を最小化し、相手の弱点を最大限に突く。それらもトレーニングで取り組む。

■育成時代に大事なものは

日本は、ジュニア、ジュニアユース、ユースで途切れている為、そこから弊害が生じている。途切れている環境の問題点（罪）を改めて浮き彫りにし、育成時代にとって大切なものを再認識しながら、解決策を探っていく。